

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		街並み環境整備				所管	文化産業観光部 産業振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	21	計画事業名	街並み環境整備			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化 [小 柱] (2)地域経済の活性化 [施 策] ①商店街の意欲を活かした振興				[事業開始] 平成15年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区商店街振興事業実施要綱、台東区商店街振興事業補助金交付要綱					
	事業対象	直接の対象 : 商店街 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	商店街の街路灯・アーチ・カラー舗装・共同施設等の設置、改修に要する経費の一部を補助することにより、商業環境整備を促進し、商店街の活性化を図る。							
	事業内容 [29年度]	商店街の街路灯・アーチ・カラー舗装・共同施設等の設置、改修に要する経費の一部を補助する。 補助率: 1/2(東京都の補助対象となった場合は区と都を合わせて2/3以内) 限度額: 任意団体1,000万円 法人5,000万円(区・都それぞれの限度額)							
	委託の有無	なし	委託内容		なし				
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	助成件数	件	6	9	7	4	6	達成率 66.7%
	成果指標								
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			7,218		3,121		4,609
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			182		201		188
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			13,688		61,453		63,099
		総経費			21,088		64,775		67,896
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			6,187		29,663		29,167
一般財源(区負担額)			14,901		35,112		38,729		
前回評価から29年度に改善した事項	なし								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	商店街が主体的に行う環境整備事業に対し行政が必要な支援を行うことは、地域経済の中心である商店街の活性化を図るうえで必須である。老朽化したアーケードや街路灯などの改修を通してより明るく活気のある環境を整備したいという要望・相談は毎年あるので、今後も継続的な支援が必要である。						
	効率性	3	計画性・必要性・課題認識に関するヒアリングの実施や、現地調査・指導・助言を行うことで、事業の効率化を図っている。						
	手段の適切性	3	補助事業の選定にあたっては、学識経験者・有識者・中小企業診断士等から構成される審査会で審査したうえで、また、商店街に対して早い段階から積極的に指導・助言を行うことで、効果的な事業実施を図っている。						
目的達成度	3	助成件数が目標に到達しなかったが、商店街の事業延期に伴う中止が理由のため、事業目的は達成できている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
商店街設備の整備や老朽設備の補修等、地域経済の活性化を図るため必要性の高い事業である。適切かつ効率的に実施されており、目標も達成している。商店街が必要な商業環境整備を行えるよう、引き続き東京都と連携しながら事業を維持していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	